

新たなにぎわいと交流の場を目指して

東海駅西口広場



通勤・通学などでJR常磐線東海駅を利用する方は、1日平均で約5千人。平成6年に現在の橋上駅舎が完成してから、皆さんも一度は利用したことがあるのではないのでしょうか。

今回は、現在の課題を踏まえつつ、来年開催される「いきいき茨城ゆめ国体」に向けて、再整備が進む東海駅西口広場を特集します。



東海駅西口広場の再整備

昭和48年に都市計画が決定した東海駅西地区の区画整理事業。事業開始から約40年が経過し、残るは東海駅西口広場のみとなりました。

事業開始から約40年が経過したことから、駅前広場に関する現状の課題等を踏まえた施設規模の見直しや老朽化対策を兼ねて「東海駅西口広場再整備事業」を計画しました。村では、この計画の完成をもって区画整理事業の完了を目指します。

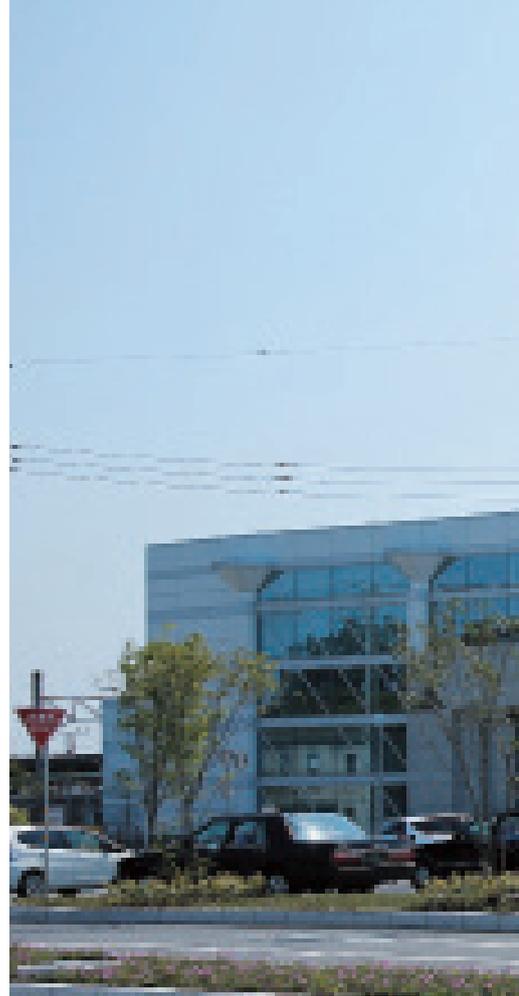
茨城国体の開催を見据えて

平成31年に開催される「いきいき茨城ゆめ国体」では、村がホッケー競技の会場になる他、メイン会場となる笠松運動公園が近いことなどから、期間中は多くの人が訪れることが予想されます。村へのアクセス道路の整備など、茨城国体の開催を見据えた整備を行っています。

今後の整備計画

駅前ロータリーを中心とした第1期工事が完了し、駅西大通りの整備に移ります。茨城国体の開催後には、最終の第3期工事に入る予定です。





JR 東海駅西口広場整備 (完成イメージ図)



【整備のポイント】

- ① 駅前広場としての機能と役割
通過交通を分離し、広場内の交通量を減少。多目的広場の設置や地区交番の移設など
- ② 駅前広場の安全性の向上
屋根・照明灯・案内板・バリアフリーなどの整備、歩道の拡幅など
- ③ 交流場所としての機能の向上
駅前広場の機能等の向上・活性化に寄与する広場の整備

ひたちなか警察署 東海地区交番



～安全・安心をより身近に～
 駅の利用者からは、「交番の場所が分かりやすくなった」との声をいただいています。地域の安全・安心のため、東海地区交番の署員が一丸となって頑張っています。若手の警察官も多く、皆で知恵を出し合っこれからも地域を守ります。

駅西口広場を利用する皆さんの声



～雨の日でも快適～

大きな屋根がロータリーのところにできてたので、雨の日でも迎えの車を待てるのが魅力です。(大学・専門学校生)



～自然を感じられる駅～

植栽が多く、自然を感じられるところが良いですね。白い大きな屋根もきれいで、玄関口としても最適ですね。(大学生)

～駅前の印象は村全体の印象～

国体には電車に来る人が多いと思うので、最初に見る駅前を整備することは大切だと思います。(高校生)



～素晴らしい駅前広場になりました～

利用者が駅西口広場を見渡して、「きれいだね」と話す姿をよく見かけます。遠くから見ても、素晴らしい駅になりましたね。(広場の手入れをする男性)